

**編集後記：**約2年ぶりに編集後記を担当します。駄文ですがどうぞお付き合いよろしくお願いします。今回は「誤植」をトピックとしたいと思います。

今では原稿執筆はワープロソフトで行うことが一般的だと思いますが、校正作業を行っていると誤変換などワープロ原稿特有と思われる誤植を時々見かけます。明らかなものはワープロソフトの自動補正機能が教えてくれたりもしますが、自動で検出されないものもあり最後は人の目が頼りです。悩ましいのが誤変換にも見えるが原文どおりでも文を成している（例えばこの編集後記の5行目の「校正」を「構成」と誤変換

しても文が成立してしまう）場合で、このようなときは文脈から判断がつけば修正しますが、どうしても迷うときには問い合わせたりもします。

著者の皆様からいただいた原稿は、複数人での校正により誤字脱字や配置の修正を数回くりかえし、皆様のお手元に届く「天気」となります。校正は地味な作業ですが、冊子になるまでにはこのような作業があるということを気に留めていただけると、作業する方も報われます。これからも「天気」をよろしくお願いします。

(中村 貴)